

# 2020年度第3四半期決算の概要及び 2020年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2021年2月9日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 目次

1. 2020年度第3四半期決算の概要	
1) 2020年度第3四半期 事業概況及びトピックス	…1
2) 決算の概要	…2、3
3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…4
4) セグメント別 コア営業利益（増減分析 対前年3Q）	…5
5) 非経常項目の内訳	…6
6) 財政状態計算書	…7
7) キャッシュ・フロー計算書	…8
2. 2020年度業績予想の概要	
1) 下期の前回予想時からの事業動向変化	…9
2) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想（対前回予想）	…10
3) セグメント別 コア営業利益の予想（3Q→4Q増減）	…11
4) 業績予想の概要(対前回予想)	…12
5) 業績予想の概要(対前年決算)	…13
6) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想（対前年決算）	…14
7) キャッシュ・フロー計算書の予想	…15
8) 2020年度第4四半期以降のトピックス	…16
3. 補助資料	…17-25

# 1. 2020年度第3四半期決算の概要

---

# 1) 2020年度第3四半期 事業概況及びトピックス

## <事業概況>

- ◆ **モビリティ**：エラストマー、機能性コンパウンド、海外ポリプロピレン・コンパウンド及びソリューション事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、グローバルな自動車生産台数の落ち込みに伴い、販売が減少した。機能性ポリマーは、ICT関連需要に的確に対応し、販売は堅調に推移した。
- ◆ **ヘルスケア**：歯科材料及びビジョンケア材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売が堅調に推移した。
- ◆ **フード&パッケージング**：コーティング・機能材は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、販売が減少した。機能性フィルム・シートは、産業用フィルム分野の販売が堅調に推移した。農薬は海外での販売が堅調に推移した。
- ◆ **基盤素材**：ナフサクラッカーの稼働は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に起因する川下製品の需要減少の影響を受け低下した。ポリプロピレンは、主に自動車用途で需要の鈍化の影響を受けた。ビスフェノールA及びアセトンの海外市況は、前年を上回る水準で推移した。

## <第3四半期のトピックス>

- ◆ **ヘルスケア**：
  - ・マスク用ノーズクランプ「テクノロート®」の増強（20年11月営業運転開始、+1ライン）
  - ・超撥水・反射防止コーティング材料メーカーのCOTEC®社の買収（20年10月発表）
- ◆ **基盤素材**：
  - ・大阪工場におけるガスタービン新設（20年12月営業運転開始、30MW）
  - ・市原工場における高純度プロピレン増強（20年12月営業運転開始）

## 2-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減	増減率
売上収益	10,053	8,574	△ 1,479	△15%
コア営業利益	599	522	△ 77	△13%
(うち、持分法による投資損益)	44	9	△ 35	△80%
非経常項目	△ 47	△ 3	44	-
営業利益	552	519	△ 33	△6%
金融収益・費用	△ 13	△ 52	△ 39	-
税引前 四半期利益	539	467	△ 72	△13%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	310	330	20	6%
為替レート(円/US\$)	109	106	△ 3	
国産ナフサ(円/KL)	42,300	28,800	△ 13,500	

## 2-2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	20年3月末	20年12月末	増減	増減率
有利子負債	5,994	5,903	△ 91	△2%
Net 有利子負債	4,277	3,788	△ 489	△11%
親会社の所有者に帰属する持分	5,292	5,647	355	7%
Net D / E レシオ (倍)	0.81	0.67	△ 0.14	-
親会社所有者帰属持分比率 (%)	34.6	36.9	2.3	-

(単位：社)

摘 要	20年3月末	20年12月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	125	123	△ 2
共同支配事業 (JO*)	4	4	-
持分法適用会社	27	27	0
連結対象会社計	156	154	△ 2

\*ジョイント・オペレーション

### 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	2,776	2,208	△ 568	330	195	△ 135	△ 105	△ 18	△ 12
ヘルスケア	1,069	1,057	△ 12	95	148	53	△ 5	6	52
フード & パッケージング	1,449	1,393	△ 56	116	152	36	2	23	11
基盤素材	4,628	3,818	△ 810	112	53	△ 59	△ 51	46	△ 54
その他	131	98	△ 33	△ 54	△ 26	28	-	-	28
合計	10,053	8,574	△ 1,479	599	522	△ 77	△ 159	57	25
成長3領域*	5,294	4,658	△ 636	541	495	△ 46			

\*モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

# 4) セグメント別 コア営業利益 (増減分析 対前年3Q)

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益			主要増減要因
	19年度 3Q	20年度 3Q	増減	
モビリティ	105	113	8	数量(-)、固定費(+)
ヘルスケア	36	76	40	数量(+)
フード & パッケージング	38	57	19	数量(+)、固定費(+)
基盤素材	43	99	56	交易(+)
その他	△20	△9	11	
合計	202	336	134	
成長3領域*	179	246	67	

セグメント		FY19 3Q ⇒ FY20 3Q
モビリティ	PPコンパウンド エラストマー、 機能性コンパウンド	→
	機能性ポリマー	→
	ソリューション事業	↘
ヘルスケア	ビジョンケア	→
	不織布	→
	歯科材	→
F&P	包装用フィルム	→
	産業用フィルム	→
	農薬	→
基盤素材	石化	→
	基礎化	→

\* モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

## 5) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減
固定資産処分・売却	3	△ 5	△ 8
減 損 損 失	△ 12	△ 1	11
関 連 事 業 損 失	△ 9	0	9
そ の 他	△ 29	3	32
非経常項目 合計	△ 47	△ 3	45

## 6) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	20年3月末	20年12月末	増減	摘 要	20年3月末	20年12月末	増減
流動資産	( 7,818 )	( 7,650 )	( △ 168 )	負債	( 9,208 )	( 8,938 )	( △ 270 )
現金及び 現金同等物	1,646	2,044	398	営業債務	1,210	1,164	△ 46
営業債権	2,739	2,561	△ 178	有利子負債	5,994	5,903	△ 91
棚卸資産	2,843	2,565	△ 278	その他	2,004	1,871	△ 133
その他	590	480	△ 110				
非流動資産	( 7,487 )	( 7,640 )	( 153 )	資本	( 6,097 )	( 6,352 )	( 255 )
有形固定資産及び 使用権資産	4,997	5,038	41	親会社の所有者に 帰属する持分	5,292	5,647	355
のれん及び 無形資産	262	258	△ 4	非支配持分	805	705	△ 100
非流動の その他の資産	2,228	2,344	116				
合 計	15,305	15,290	△ 15	合 計	15,305	15,290	△ 15

## 7) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	19年度 4-12月決算	20年度 4-12月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,054	1,405	351
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 784	△ 650	134
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	270	755	485
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59	△ 341	△ 282
IV. その他	△ 8	△ 16	△ 8
現預金等増減	203	398	195

## 2. 2020年度業績予想の概要

---

# 1) 下期の前回予想時からの事業動向変化

セグメント		前回予想 下期 ⇒ 今回予想 下期	概要
モビリティ	PPコンパウンド エラストマー、 機能性コンパウンド		グローバル全拠点で自動車生産回復基調。 中国、北米販売好調。欧州新拠点の稼働順調。
	機能性ポリマー		引き続き、スマホレンズ等ICT関連需要が堅調に推移。
	ソリューション事業		下期より顧客活動再開してきているものの前回予想時から大きな変化なし。
ヘルスケア	ビジョンケア		上期販売減の反動により、想定以上の回復。
	不織布		大きな環境変化は見込まない。
	歯科材		上期から回復も、前回予想から大きな環境変化は見込まない。
F&P	包装用フィルム		大きな環境変化は見込まない。
	産業用フィルム		半導体需要堅調により増販。
	農薬		大きな環境変化は見込まない。(4Q国内需要期)
基盤素材	石化		クラッカー高稼働維持。P O堅調。
	基礎化		海外市況改善。

## 2) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想 (対前回予想)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			主要増減要因
	前回予想 (20.11.11発表)	今回予想	増減	前回予想 (20.11.11発表)	今回予想	増減	
モビリティ	3,000	3,150	150	240	280	40	販売数量(+)、固定費(+)
ヘルスケア	1,400	1,450	50	160	190	30	販売数量(+)、固定費(+)
フード & パッケージング	1,950	2,000	50	185	215	30	販売数量(+)、固定費(+)
基盤素材	5,250	5,400	150	△ 30	140	170	販売数量(+)、在庫(+)、 <u>交易条件(+)</u> 、 <u>持分法(+)</u>
その他	150	150	0	△ 55	△ 55	0	
合計	11,750	12,150	400	500	770	270	

成長3領域*	6,350	6,600	250	585	685	100
--------	-------	-------	-----	-----	-----	-----

\* モビリティ、ヘルスケア、フード&amp;パッケージング

### 3) セグメント別 コア営業利益の予想 (3Q→4Q増減)

(単位：億円)

セグメント	20年度 コア営業利益			主要増減要因
	3Q	4Q予想	増減	
モビリティ	113	85	△ 28	交易(-)、固定費(-)
ヘルスケア	76	42	△ 34	数量(-)、固定費(-)
フード & パッケージング	57	63	6	数量(+)、固定費(-)
基盤素材	99	87	△ 12	数量(+)、交易(-)、固定費(-)
その他	△ 9	△ 29	△ 20	
合計	336	248	△ 88	
成長3領域*	246	190	△ 56	

\* モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

セグメント		3Q ⇒ 4Q
モビリティ	PPコンパウンド エラストマー、 機能性コンパウンド	➡
	機能性ポリマー	➡
	ソリューション事業	➡
ヘルスケア	ビジョンケア	➡
	不織布	➡
	歯科材	➡
F&P	包装用フィルム	➡
	産業用フィルム	➡
	農薬	➡
基盤素材	石化	➡
	基礎化	➡

## 4) 業績予想の概要 (対前回予想)

(単位：億円)

摘要	前回予想 (20.11.11発表)	今回予想	増減	増減率
	年度	年度		
売上収益	11,750	12,150	400	3%
コア営業利益	500	770	270	54%
非経常項目	20	△ 45	△ 65	-
営業利益	520	725	205	39%
金融収益・費用	△ 50	△ 65	△ 15	30%
税引前利益	470	660	190	40%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	330	480	150	45%

為替レート(円/US\$)	106	106	△ 3
国産ナフサ(円/KL)	29,800	31,400	+ 1,600

	期末	期末
配当	50 円/株	50 円/株
	通期 100円/株	通期 100円/株

## 5) 業績予想の概要 (対前年決算)

\*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。  
(単位：億円)

摘 要	19年度決算 *1 (IFRS) (a)		20年度予想 (IFRS) (b)		増減 (b)-(a)	
	4-12月	年度	4-12月	年度	年度	%
売上収益	10,053	13,495	8,574	12,150	△ 1,345	△10%
コア営業利益	599	723	522	770	47	7%
非経常項目	△ 47	△ 77	△ 3	△ 45	32	△42%
営業利益	552	646	519	725	79	12%
金融収益・費用	△ 13	△ 38	△ 52	△ 65	△ 27	71%
税引前利益	539	608	467	660	52	9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	310	340	330	480	140	41%

為替レート(円/US\$)	109	109	106	106	△ 3
国産ナフサ(円/KL)	42,300	42,900	28,800	31,400	△ 11,500

配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減
	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株
通期 100 円/株		通期 100 円/株		通期 +0円/株		

## 6) セグメント別 売上収益・コア営業利益の予想 (対前年決算)

\*1 IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。

(単位：億円)

セグメント	売上収益 (IFRS)					コア営業利益 (IFRS)				
	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (b) - (a)	19年度決算 *1		20年度予想		増減 (d) - (c)
	4-12月	年度 (a)	4-12月	年度 (b)		4-12月	年度 (c)	4-12月	年度 (d)	
モビリティ	2,776	3,679	2,208	3,150	△ 529	330	431	195	280	△ 151
ヘルスケア	1,069	1,432	1,057	1,450	18	95	132	148	190	58
フード & パッケージング	1,449	2,013	1,393	2,000	△ 13	116	170	152	215	45
基盤素材	4,628	6,195	3,818	5,400	△ 795	112	94	53	140	46
その他	131	176	98	150	△ 26	△ 54	△ 104	△ 26	△ 55	49
合計	10,053	13,495	8,574	12,150	△ 1,345	599	723	522	770	47
成長3領域 *2	5,294	7,124	4,658	6,600	△ 524	541	733	495	685	△ 48

\*2 モビリティ、ヘルスケア、フード&パッケージング

## 7) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

摘 要	19年度決算 (IFRS)		20年度予想 (IFRS)		増減 (b)-(a)	20年度(IFRS) 前回予想 (20.11.11発表)
	4-12月	年度(a)	4-12月	年度(b)		年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,054	1,422	1,396	1,600	178	1,500
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 784	△ 1,091	△ 641	△ 900	191	△ 1,100
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	270	331	755	700	369	400
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 59	△ 64	△ 341	△ 720	△ 656	△ 430
IV. その他	△ 8	△ 16	△ 16	0	16	-
現預金等増減	203	251	398	△ 20	△ 271	△ 30

## 8) 2020年度第4四半期以降のトピックス

### <トピックス(予定)>

#### ◆モビリティ

- ・中国におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン生産設備新設  
(20年度第4四半期営業運転開始、3,500トン/年)
- ・EUVペリクル生産設備新設 (20年度第4四半期完工、21年度第2四半期営業運転開始)
- ・高機能エラストマー「タフマー®」生産能力増強 (21年度第1四半期完工予定、+2.5万トン/年)

## 3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上収益・コア営業利益）
- 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 財務データ
- 5) 地域別売上収益比率

# 1) 製品価格の状況

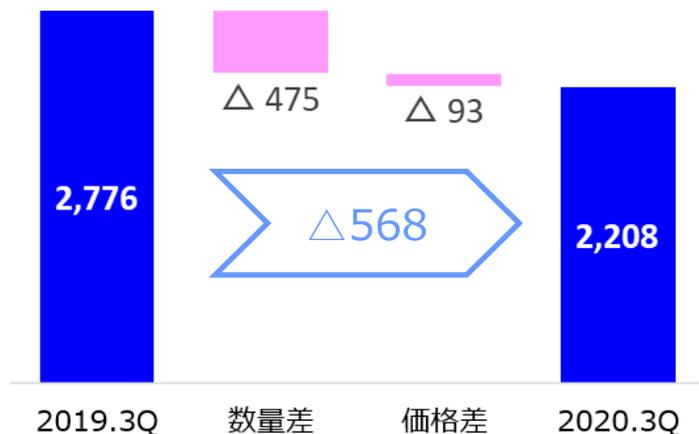
(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2018年				2019年				2020年				1~3月予想 市況感
月		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
国産標準 力価	(円/KL)	47,900	48,800	53,500	54,200	41,200	45,400	40,200	41,300	44,800	25,000	30,200	31,300	39,000
PE国内	(円/KG)	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	↗
PP国内	(円/KG)	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→	△10円 程度	+10円 程度	△30円 程度	→	→	↗
PH国内 (7オミ17価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	+10円	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$920	\$850	\$860	\$770	\$580	\$620	\$660	\$680	\$700	\$360	\$440	\$490	→
BPA国内	(円/KG)	→	→	→	→	→	△15円 (4月~)	→	→	+5円 (1月~)	△15円 (6月~)	→	→	→
BZ/BPA市況をベースに都度交渉														
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,670	\$1,800	\$1,810	\$1,550	\$1,450	\$1,410	\$1,190	\$1,210	\$1,310	\$1,210	\$1,290	\$1,990	↘
PTA 中国市況	(\$/T)	\$760	\$810	\$960	\$910	\$840	\$790	\$700	\$620	\$560	\$420	\$440	\$450	→
PX (*ACP)	(\$/T)	\$950	\$980	\$1,140	\$1,140	\$1,060	\$910	\$810	\$800	\$710	\$500	\$550	\$560	→
TDI 中国市況	(\$/T)	\$4,470	\$4,150	\$3,400	\$2,480	\$1,730	\$1,790	\$1,610	\$1,500	\$1,430	\$1,330	\$1,580	\$2,330	↘

## 2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

### 売上収益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



#### ◆数量差 △475億円

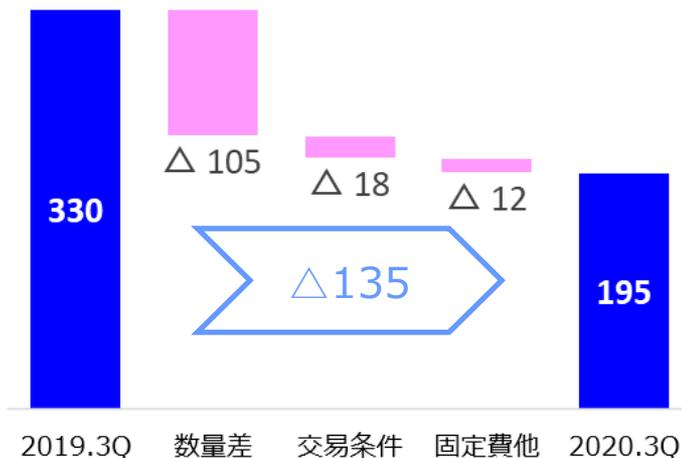
- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンド、ソリューション事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるグローバル自動車生産減速の影響を受けた。
- ・ICT関連の需要に的確に対応。

#### ◆価格差 △93億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

### コア営業利益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



#### ◆数量差 △105億円

- ・エラストマー、機能性コンパウンド、海外PPコンパウンド、ソリューション事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるグローバル自動車生産減速の影響を受けた。
- ・ICT関連の需要に的確に対応。

#### ◆交易条件 △18億円

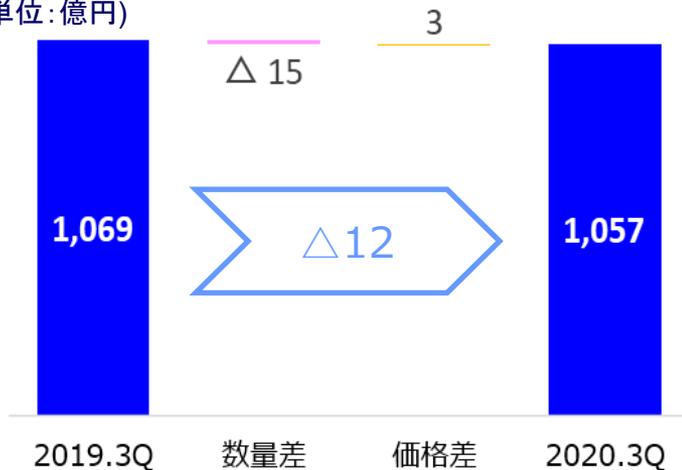
- ・海外PPコンパウンドの交易条件悪化等。

#### ◆固定費他 △12億円

## 2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

### 売上収益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



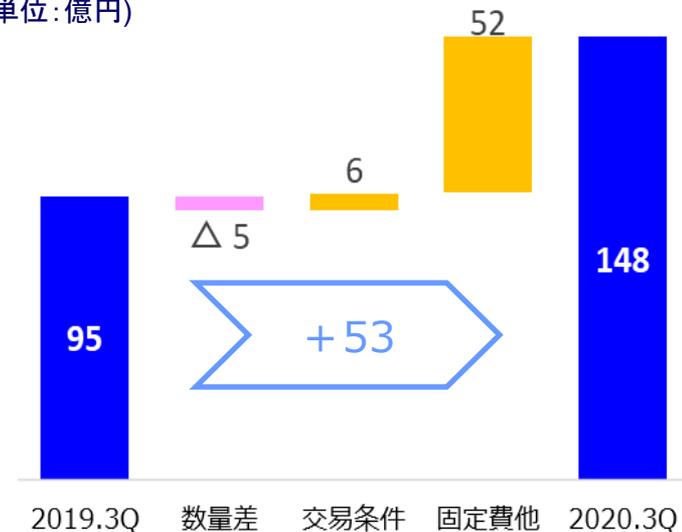
#### ◆数量差 △15億円

- ・歯科材料、ビジョンケア材料は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた。
- ・不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売堅調。

#### ◆価格差 +3億円

### コア営業利益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位: 億円)



#### ◆数量差 △5億円

- ・歯科材料、ビジョンケア材料は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた。
- ・不織布は、おむつ、マスク及び医療用ガウン向けの販売堅調。

#### ◆交易条件 +6億円

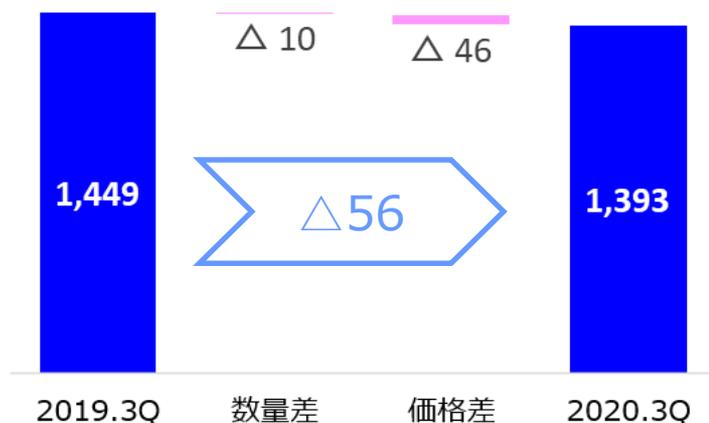
#### ◆固定費他 +52億円

- ・海外子会社での事業活動制限によるコストダウン等。

## 2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

### 売上収益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位:億円)



#### ◆数量差 △10億円

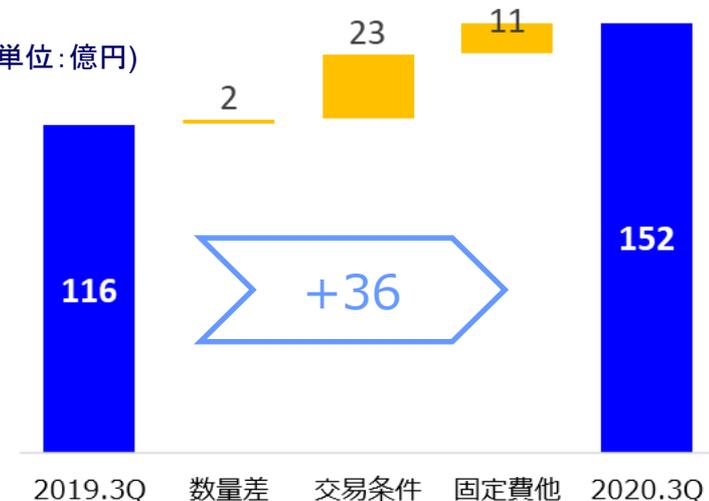
- ・産業用フィルム及び農薬の販売堅調。
- ・コーティング・機能材は新型コロナウイルス感染症拡大により販売減少。

#### ◆価格差 △46億円

- ・原料価格下落による販売価格の改定等。

### コア営業利益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位:億円)



#### ◆数量差 +2億円

- ・産業用フィルム及び農薬の販売堅調。
- ・コーティング・機能材は新型コロナウイルス感染症拡大により販売減少。

#### ◆交易条件 +23億円

- ・原料価格下落による交易条件改善等。

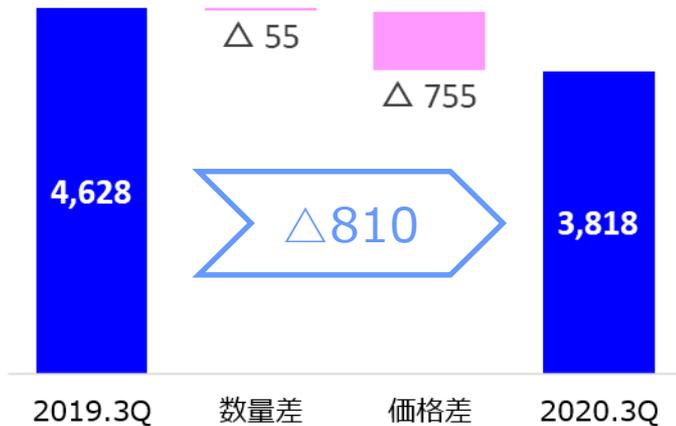
#### ◆固定費他 +11億円

- ・コストダウン等。

## 2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上収益・コア営業利益)

### 売上収益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位:億円)



◆数量差 △55億円

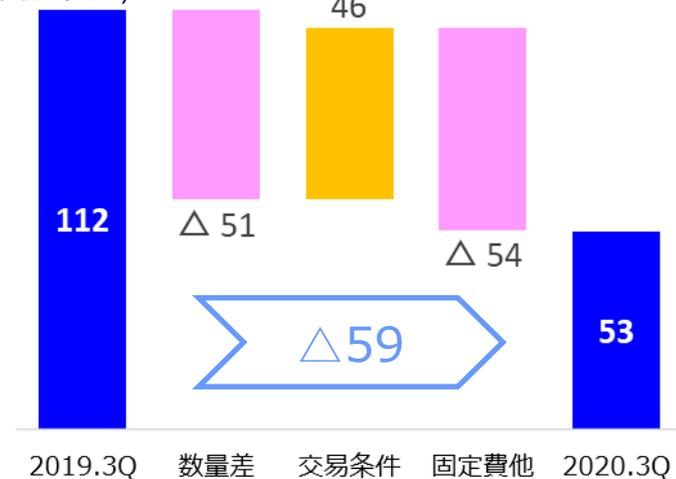
・オレフィン及びポリプロピレンの販売減少。

◆価格差 △755億円

・原料価格下落による販売価格の改定。

### コア営業利益増減 (2020年度第3四半期決算 対 2019年度第3四半期決算)

(単位:億円)



◆数量差 △51億円

・オレフィン及びポリプロピレンの販売減少。

◆交易条件 +46億円

・ビスフェノールA及びアセトン市況改善等。  
・在庫評価損。

◆固定費他 △54億円

・持分法投資損益悪化等。

### 3) セグメント別 売上収益・コア営業利益の内訳 (四半期別)

\* IFRSに基づく19年度決算値は20年度業績予想との比較を目的に作成したものであり、監査証明を受けたものではありません。(単位：億円)

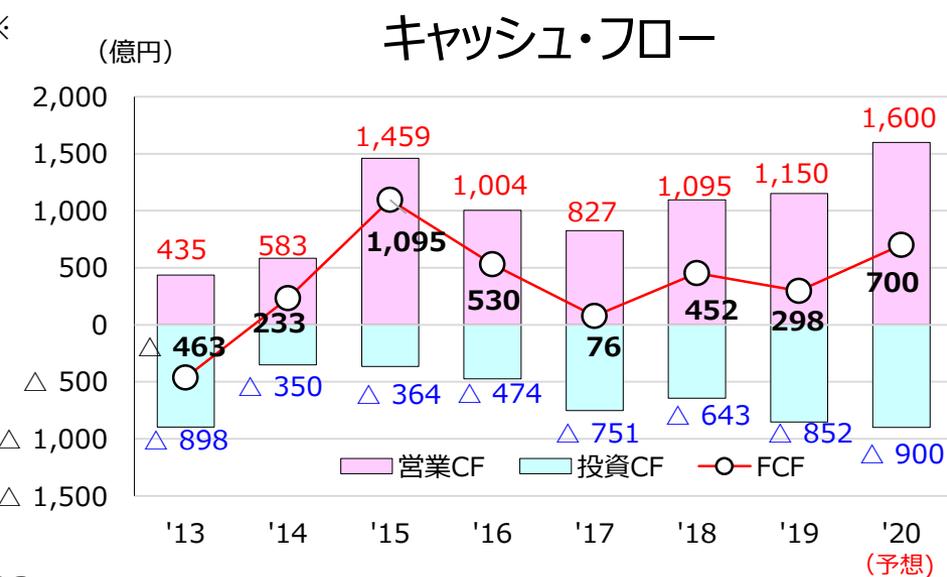
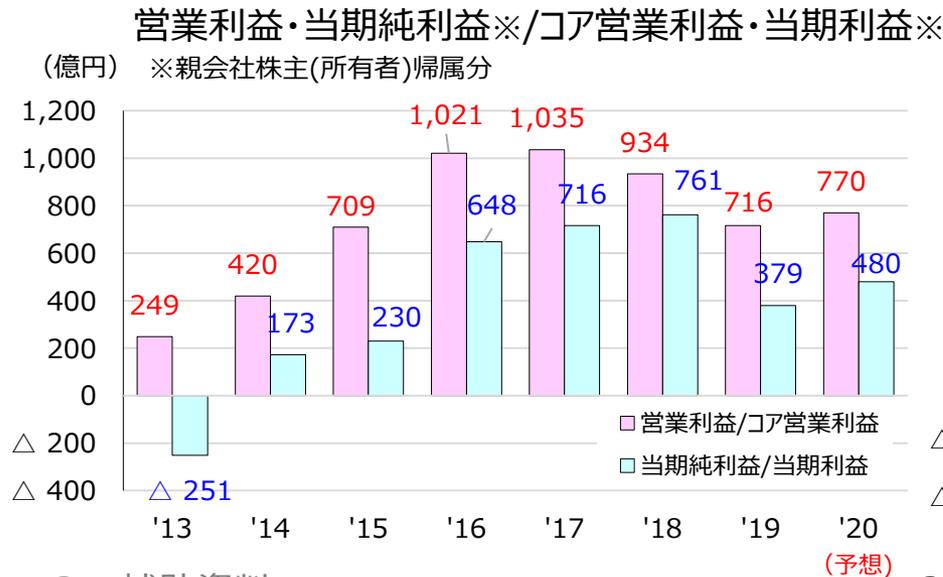
セグメント	売上収益 (IFRS)							
	19年度*				20年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 予想
モビリティ	944	930	902	903	583	737	888	942
ヘルスケア	352	346	371	363	289	371	397	393
フード&パッケージング	473	493	483	564	454	442	497	607
基盤素材	1,637	1,523	1,468	1,567	1,186	1,240	1,392	1,582
その他	44	45	42	45	33	35	30	52
合計	3,450	3,337	3,266	3,442	2,545	2,825	3,204	3,576

(単位：億円)

セグメント	コア営業利益 (IFRS)							
	19年度*				20年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 予想
モビリティ	117	108	105	101	23	59	113	85
ヘルスケア	37	22	36	37	14	58	76	42
フード&パッケージング	31	47	38	54	44	51	57	63
基盤素材	76	△7	43	△18	△63	17	99	87
その他	△16	△18	△20	△50	△12	△5	△9	△29
合計	245	152	202	124	6	180	336	248

# 4-1) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度：IFRS

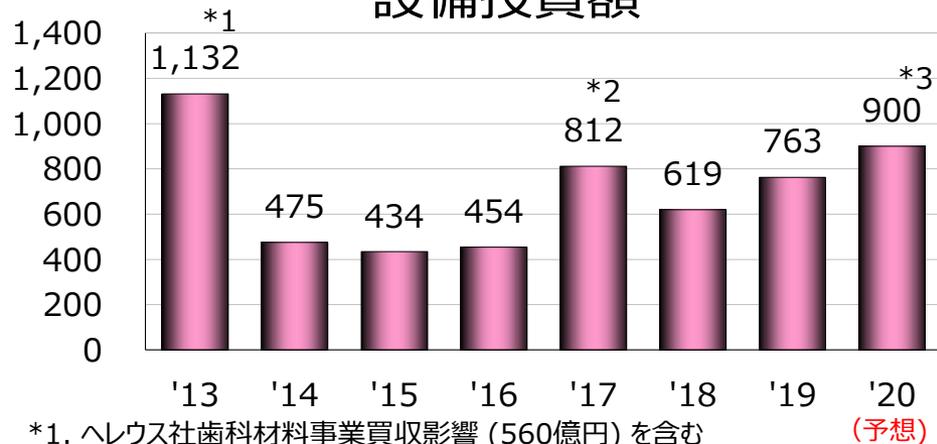


# 4-2) 財務データ

注) ~19年度：日本基準 / 20年度：IFRS

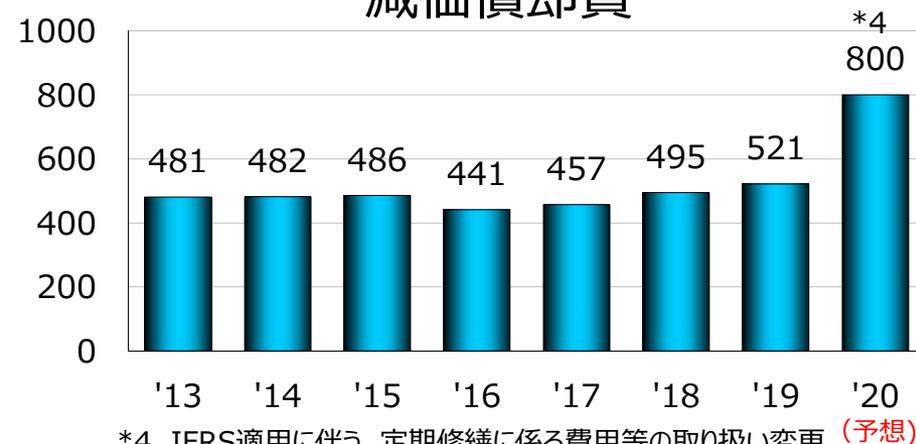
(億円)

## 設備投資額



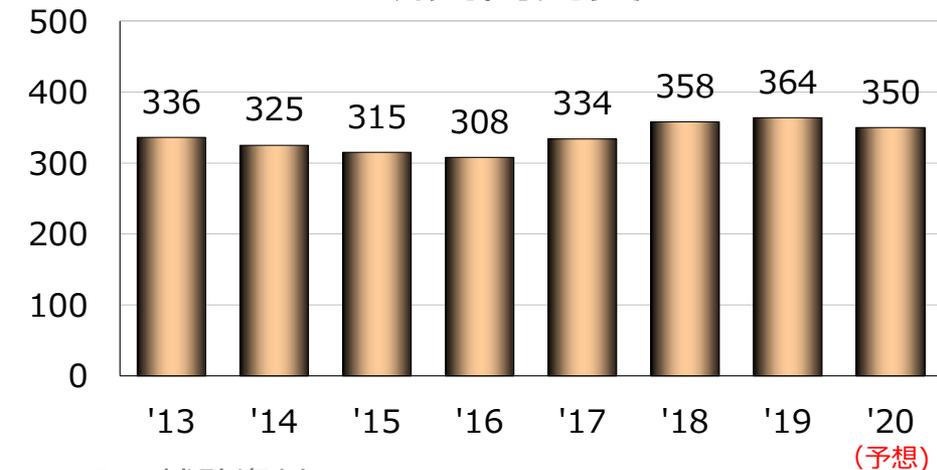
(億円)

## 減価償却費



(億円)

## 研究開発費



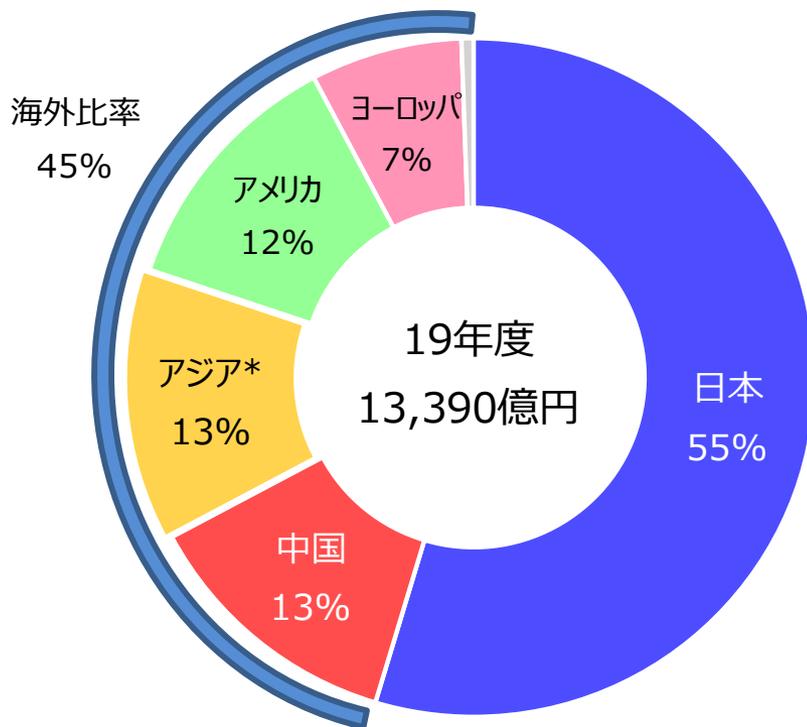
(億円)

## Net D/エレシオ

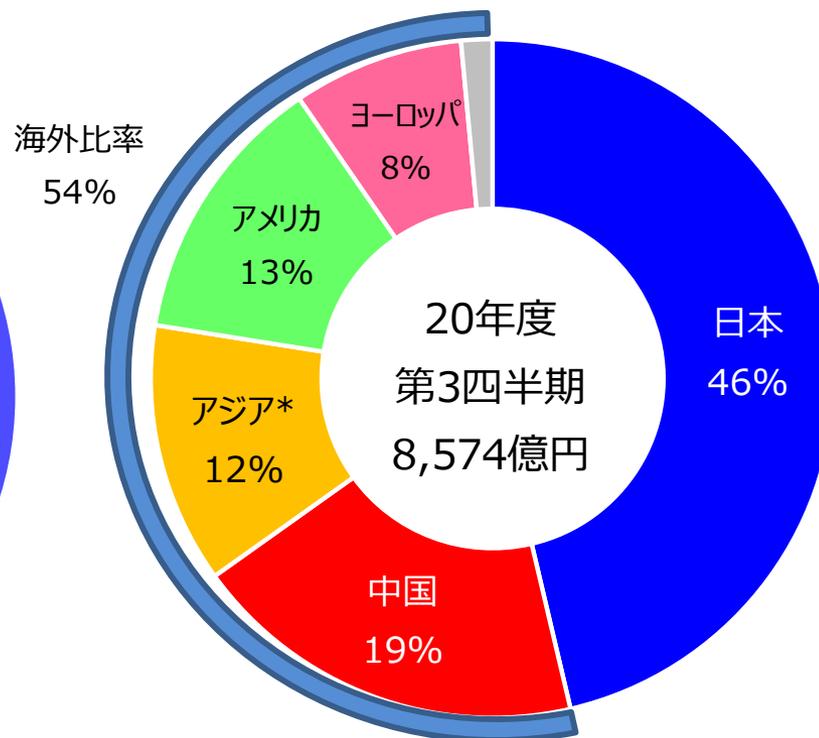


# 5) 地域別売上収益比率

## 日本基準



## IFRS



\* アジア：日本及び中国を除く



**Mitsui Chemicals**

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、  
社会課題を解決する